

第3次食育推進基本計画指標（仙台市に指標のないもの）

指標項目	仙台市 現状値 (H28)	国現状値 (H27)	国目標値 (H32)	出典	備考
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる共食の回数	調査中	週 9.7 回	週 11 回以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市 市政モニター調査	共食の回数は、「ほとんど毎日」を7回、「週に4～5日」を4.5回、「週に2～3日」を2.5回、「週1回程度」を1回として朝食・夕食ごとに当該人数をかけ、合計したものを全体数で割り、朝食と夕食の回数を足して週当たりの回数を算出
地域等で共食したいと思う人が共食する割合	55.3%	64.6%	70%以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市民の健康意識等に関する調査	食事会等へ参加したいかの問いに「とてもそう思う」、「そう思う」と答えた方のうち、参加している割合
生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践する国民の割合	61.1%	69.4%	75%以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市民の健康意識等に関する調査	「いつも気をつけて実践している」、「気をつけて実践している」割合
ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	調査中	49.2%	55%以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市 市政モニター調査	「ゆっくりよく噛んで食べている」、「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」割合
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	45.3%	57.7%	70%以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市民の健康意識等に関する調査	「ほぼ毎日食べている」割合
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	27.1%	43.2%	55%以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市民の健康意識等に関する調査	「ほぼ毎日食べている」若い世代(20～30歳代)の割合
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	60.0%	72.0%	80%以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市民の健康意識等に関する調査	「いつも判断している」、「判断している」割合
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合	47.9%	56.8%	65%以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市民の健康意識等に関する調査	「いつも判断している」、「判断している」若い世代の割合
食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	—	67.4% (26年度)	80%以上	消費者庁:消費者意識基本調査	消費者意識基本調査:1 問目に食品ロスについて説明した上で、食品ロスという問題を知っているか質問。2 問目に食品ロス軽減のために取り組んでいることを質問し、指標には、食品ロスを知っている上で何らかの取り組みを行う者の割合を計上している。
	92.4%	93.4% (参考値)	—	消費者庁:消費者意識基本調査 仙台市民の健康意識等に関する調査	仙台市:食品ロス軽減のために何らかの取り組みを行う者の割合のみ把握。 (参考値)消費者意識基本調査:何らかの取り組みを行っている者の割合
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	33.7%	41.6%	50%以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市民の健康意識等に関する調査	「受け継いでいる」と答えた方のうち、「伝えている」割合
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合	47.7%	49.3%	60%以上	内閣府 食育に関する意識調査 仙台市民の健康意識等に関する調査	「受け継いでいる」若い世代の割合

(参考)

調査名	対象	標本数	有回答数	調査方法
内閣府 食育に関する意識調査	全国の20歳以上の国民	3,000人	1,791人	調査員による個別面接聴取
消費者庁 消費者意識基本調査	全国の15歳以上の国民	10,000人	6,449人	訪問留置・訪問回収法（調査員が調査票を配布・回収する方法）